



題字 藤本利夫書

発行2019年4月1日 <1988年7月9日創刊>
 毎月1日発行
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 eメール shiga.minken@gmail.com
 HP: http://shiga-minken.jindo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ① ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ② 滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿から一年

(白石正久 龍谷大学社会学部)

「学習指導要領」と同様に、幼稚園には「幼稚園教育要領」、保育所には「保育所保育指針」、認定こども園には「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」があり、それぞれ文科省、厚労省、内閣府と管轄が異なります。この縦割り行政は解消されるべきですが、今回のこれらの「要領」「指針」の改訂では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が横を貫く共通事項としてはじめて盛り込まれました。その「姿」は10項目であり、そのうちの「自立心」は、「身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる」とされます。伝達講習などでは、「考慮すべき事項であり目標ではない」と説明されているようですが、たとえば「ベネッセ」のHPを開けば、「姿」が「力」と読み替えられて解説されています。

この「自立心」を読んで、「なるほど大切なことだ」との感想もあるでしょうし、「発達心理学者」のなかには無条件の賛意を語っている方もいます。しかし、「自覚」「自分の力で行う」「諦めずにやり遂げる」「達成感」「自信」などは、大人や友だちとの衝突、失敗や挫折の経験などの長い心の軌跡のうえに芽生えてくる心であり、それらの葛藤があつてこそ、他者の思いや要求を自己統制力として内面化していくことができるのです。「姿」にはそのような発達の観点は欠落していません。「姿」は、道徳の教科化に呼応して、文科省、厚労省などという行政管轄よりも上位の方針によって、子どもに求める「資質・能力」「人間性」を規定しているものです。それがいかに強い国の要求であるかは、施行一年の経過から一目瞭然です。すでに幼稚園や保育所は、「計画」や「評価」の記述で「姿」を具体化しているかどうかを、各自自治体の「指導・助言」や「監査」によって

《 今月の紙面 》

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から一年
 / 白石 正久 …P1
- ・中等部会報告～新学習指導要領
 学習会・高校数学は何を目指すのか / 事務局 …P2, 3
- ・ともに過ごした Day by day
 / 佐藤 光音 …P4, 5
- ・平成の30年をどう見るか (下)
 / 家長 隆 …P6, 7
- ・滋賀の教育動向 1・2月 …P8

点検されているようです。また、小学校への「指導要録」「保育要録」において「姿」の達成を記入することを要求されています。

学校教育は、これからの乳幼児期の実践に対して無関心でいるわけにはいきません。こういった一面的な人格形成の目標達成を求められ急かされた子どもたちが、外面と内面をますます乖離させた人格を形成していくことについての、感度の高い注意が必要になります。そのためにも、乳幼児期から学齢期を貫く、子どもの発達の本当の姿への学びと実践研究を進める、地域のなかでの研究運動が求められています。

(しらいしまさひさ)

